

防災用途で選ぶべき電源、選んではいけない電源

Published: 2025-12-15 / Updated: 2026-09-06

Summary

ポータブル電源は「非常用家電」から「防災インフラ」へ用途を広げている。一方、防災インフラとして使う電源自体の火災・リコールは、平時の保管と非常時の継続利用を脅かす。リチウムイオン電池の主要な価値は、軽量・小型化と急速充電にある。これらを必要としない長期保管・常時接続型の防災・BCP用途では、AGMなど非リチウム方式も含め、事故時挙動、保守・回収、切替時間、電力品質から選定する。具体的な調達・運用・保管・リコール判断はarticle-027へ接続する。

Key Points

- Array
- 平時から安全に保管・常時接続でき、停電時に必要負荷へ確実に給電できる電源を、電池方式・事故時挙動・回収・切替性能から判断する。

Source Article

<https://www.ieee802.co.jp/articles/article-011-lithium-ion-battery-fire.php>

© Kei Communication Technology Inc.

This document is a summary of the source article. For the latest information, refer to the source URL.